

(二) 足尾銅山労働争議

一 栃木縣足尾町全日本鉱夫総聯合會足尾聯合會ニ於テ從来屢々役員會若クハ講演會等ヲ開催シ專ラ會員ノ結束ニ努メツテ近來會員中聯合會ニ無為ナル者批難スル聲ヲ洩シ殊ニ會員ヲ納付セサル者續出ノ傾向アリ又中ニハ聯合會ヲ離脱シ採鉱夫評議員會ニ頼ラムトスルノ形勢アルヲ以テ幹部員等ハ會員ノ引留策ニ焦慮シ此際何等カ劃策スルニ非カレバ會務挽回ノ途ナシト觀ミツケル矢先三月十四日通洞坑内ヲ五区坑夫約五十名同坑内元年樋ト称スル箇所ニ集合シ近來請負ニ降ル賃銀ハ一日三円位ヲ得ル者アリ又火藥代ニモ留ラレモナリ斷テハ不公平故問代ノ調査ヲ計リ得ル條

會社ニ要求セシト提議中ナリシヲ坑内保負カ致見シテ就業ヲ論ボシタル坑夫等更ニ抗言等ヲナスコトナク各自就業セリ

一 然ルニ此事實ヲ聞知セル聯合會通洞支部(會員約七百名)ハ好機逸スヘカラストレ今夜役員會ヲ開キ高梨勇外七十五名會同提議ノ結果之ヲ動機トシテ運動開始ニ決セルモ一應會員ニ詔ルノ要アリトテ十六日公休日ヲ利用シ緊急大會ヲ開クコトシ提議事項トシテ

- (一) 團結權ヲ認ムルコト
- (二) 最低賃銀ヲ壹円八十錢トナスコト
- (三) 坑内八時間制ヲ實施スルコト但レ六時間個々私企ニ勤續勵勞手當金ハ其ノ理由如何ヲ問ハズ觀